

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	薬剤溶出性バルーンを用いた浅大腿動脈血管内治療と膝下からの遠位バイパスの複合手術の治療成績
倫理委員会承認番号	No.20- 21- 76
研究の対象	2018年1月から2021年12月まで当院で重症下肢虚血に対して、薬剤溶出性バルーンによる浅大腿動脈血管内治療と膝下からの遠位バイパスの複合手術を施行し、遠隔期追跡調査可能であった29例を対象とします。
研究目的・方法	従来、浅大腿動脈から足部までの広範囲閉塞性病変に対しては、大腿動脈から足部血管までの長区間バイパスが行われてきました。しかしながらここ10年で浅大腿動脈の血管内治療が進歩し、特に薬剤溶出性バルーンはその良好な治療成績から浅大腿動脈血管内治療の主流となりました。そこで今回、長区間バイパスの代わりになりうる薬剤溶出性バルーンを使用した浅大腿動脈血管内治療と膝下からの遠位バイパスの複合手術の治療成績について後方視的に検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過などを診療録、検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
外部への試料・情報の提供	当院で検討を行うため、外部への資料・情報の提供は行いません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は論文投稿を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 心臓血管外科 研究責任者：小林 平 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	